

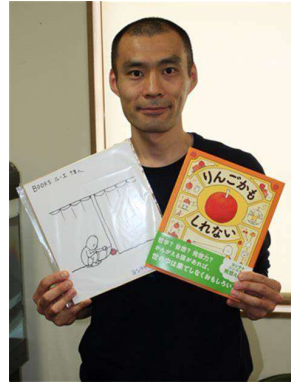
絵本作家・ヨシタケシンスケに触れる

はじめに

2023年11月現在、宇都宮美術館にて絵本作家ヨシタケシンスケさんの大規模な個展が開かれています。その名は「ヨシタケシンスケ展かもしれない」です。個展そのものは昨年(2022年)4月より東京で開催され、今回の栃木県での開催は8か所目となります。ヨシタケシンスケさんとは何者なのか、どんな作品を描いているのかを学びたいと思います。

ヨシタケシンスケとは

- 1973年神奈川県で生まれる。
- 1998年大学の仲間たちとともに共同アトリエ「スタジオビッグアート」を結成。
- 2003年初のイラスト集「しかもフタが無い」を刊行。
- 2007年「スタジオビッグアート」を「パンタグラフ」に改称。
- 2013年初のオリジナル絵本「りんごかもしれない」を刊行。
- 2022年初の大規模個展「ヨシタケシンスケ展かもしれない」東京都で開催。
- 2023年「ヨシタケシンスケ展かもしれない」栃木県で開催。
- 2024年「ヨシタケシンスケ展かもしれない」静岡県、長野県、神奈川県で開催予定。



ヨシタケシンスケさん

主な作品

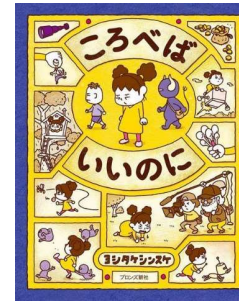


「りんごかもしれない」

「りんごかもしれない」2013年4月17日発売

ひとつのりんごをめぐる次から次へと繰り返される不思議でユニークな世界。

見方を変えればりんごひとつで無限に遊べる。発想力で楽しく豊かに過ごす方法がぎっしりつまった絵本です。



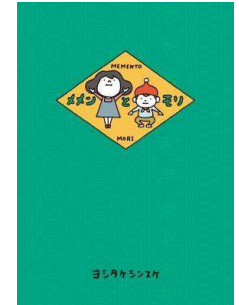
「ころべばいいのに」

「ころべばいいのに」2019年6月19日

発想えほん第4弾。きれいな人がいてもいいじゃない！ヨシタケシンスケ流ころの処方箋。イヤな気持ちだって、自分ではどうしようもないどしゃ降りの雨のようなもの。そんなときはね・・・！

「メメンとモリ」2023年5月31日

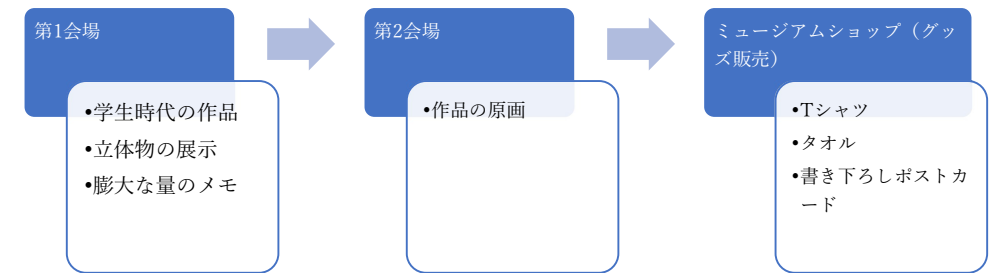
ヨシタケシンスケ初の長編絵本。「生きる意味」や「生きる目的」って必要ですか？身も蓋もない言葉の中にだけ、希望を見出せるときもある。ヨシタケシンスケが描く「人は何のために生きてるの？」の3つのお話。



「メメンとモリ」

ヨシタケシンスケ展かもしれない

2023年10月15日～12月24日宇都宮美術館で開催



開催場所

宇都宮美術館

住所：〒320-0004 栃木県宇都宮市長岡町 1077 番地

会館時間：9:30～17:00 (入館は 16:30 まで)

休館日：毎週月曜日

観覧料：一般 1000(800)円

※ () 内は 20 名以上の団体割引料金

身体障がい者手帳、療育手帳、

精神障がい者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介護者 (1 名) は無料。

